



ニュースリリース 平成22年 8月27日

公益信託江橋長光記念高齢者福祉基金 第16回助成金の給付について

常陽銀行(頭取 鬼澤 邦夫)が受託しています公益信託「江橋長光記念高齢者福祉基金」の第16回助成先が下記のとおり決定し、給付しますのでお知らせいたします。

助成先は、今年度応募いただいた中から松村直道常磐大学教授を議長とする運営委員会において審議選考のうえ、決定しました。

なお、この基金は、享年73歳で逝去された江橋長光氏(茨城県水戸市)の遺志を受け継いだご遺族が私財を提供され、茨城県内の高齢者福祉向上に寄与する事業に対し助成を行うことを目的として平成6年12月に設立されたものです。当該事業を行うボランティア団体や老人福祉施設、社会福祉協議会などを助成対象とし、今後も毎年継続して100万円程度を給付する予定です。

記

1. 助成先 「茨城喘息患者の会 いばらき野バラの会」「茨城県リウマチ連絡協議会」
「常陸太田市社会福祉協議会河内支部」「ひまわり会」
「水戸市社会福祉協議会吉田支部」「朗読ボランティアいずみ」
「特定非営利活動法人 ふれあい坂下」
「NPO法人龍ヶ崎市回想法センター」
「社団法人日本リウマチ友の会茨城支部」
「水戸下市かえるタウン交流の会」「特定非営利活動法人 ゆりの会」
11先(助成内容は[こちら](#))

2. 助成金 合計100万円
(基金設立以来の助成実績は、今回を含め132先に対し総額1,387万5千円)

3. 給付日 8月27日

以上

基金の概要

1. 名 称 公益信託江橋長光記念高齢者福祉基金
2. 受 託 者 株式会社常陽銀行
3. 当初信託財産 2,000 万円
4. 発 足 日 平成 6 年 12 月 27 日
5. 目 的 茨城県内における高齢者介護等のボランティア活動、高齢者在宅福祉の向上を図る事業等に対して支援及び援助を行い、もって茨城県の高齢者福祉の向上に寄与する。
6. 事 業 年間助成額を 100 万円程度とし、次に掲げる事業に対し助成金の給付を行う。
(1) 茨城県内における高齢者介護等を目的としたボランティア活動
(2) 茨城県内における高齢者在宅福祉の向上を図る事業
7. 信託管理人 黒羽 茂 氏（税理士）
8. 運 営 委 員 松村 直道氏（常磐大学教授）
古徳 雄豺氏（元茨城県社会福祉協議会常務理事）
鈴木 一良氏（鈴縫工業株式会社代表取締役社長）
池田 幸也氏（常磐大学教授）
石井 養信氏（元茨城県共同募金会常務理事事務局長）

以 上

公益信託 江橋長光記念高齢者福祉基金 [平成22年度助成先]

	助成先	市町村	主な用途	主な活動内容
1	茨城喘息患者の会「いばらき野バラの会」	土浦市	物件購入費： パソコン等	気管支喘息患者（高齢者）とその家族による研究・交流会。
2	茨城県リウマチ連絡協議会	笠間市	活動費：交通費、通信費	高齢者のリウマチ患者に対してTEL, FAX, 絵手紙等での安否確認をする。在宅療養、病院入院患者、老人保健施設入所者等を訪問する。
3	常陸太田市社会福祉協議会河内支部	常陸太田市	物件購入費： 冷蔵庫	1人暮らし高齢者に対するふれあい給食サービスを実施する。及び高齢者対象料理教室等の実施する。
4	ひまわり会	日立市	活動費：交流会費用、会報誌発行費用	1人暮らし高齢者への電話や訪問による安否確認と交流会の開催。
5	水戸市社会福祉協議会吉田支部	水戸市	活動費	高齢者の戦争体験の講演会などの小学生との交流会、高齢者の健康増進講座などの開催。
6	朗読ボランティアいずみ	笠間市	物件購入費： ペープサートの材料費	大型紙芝居・大型絵本などのお話しや朗読、ペープサート（紙人形芝居）や室内レクレーションゲーム、オカリナ演奏などの慰問活動。
7	特定非営利活動法人 ふれあい坂下	日立市	物件購入費： 弁当箱代	高齢者・障害者への配食サービス。
8	NPO法人 龍ヶ崎市回想法センター	龍ヶ崎市	活動費：ホームページ維持費用	認知症予防のための回想ガイド活動。回想法とは、高齢者が昔のことを回想して話すことで記憶を刺激する精神療法で、認知症予防する。
9	社団法人日本リウマチ友の会 茨城支部	ひたちなか市	活動費	リウマチ患者と介護をする家族のための相談会、医療講演会、懇親会の企画。独居高齢者等の安否確認。
10	水戸下市かえるタウン交流の会	水戸市	活動費：高齢者向けパソコン教室	高齢者の為に戦前、戦後の懐かしい映画を上映、懐かしいレコード鑑賞など、高齢者と若者との交流の場を提供する。
11	特定非営利活動法人 ゆりの会	水戸市	物件購入費： 調理器具	独居高齢者への給食配膳サービス。
計11件 助成総額100万円				